



T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

国際ロータリー第2750地区
創立2004年12月8日
東京六本木ロータリークラブ

ロータリー100年:未来への架橋

ロータリーを祝おう
——100年の歩み

WEEKLY REPORT

2005. 6. 27

No. 28

卓話 「日本とインド」

東 芝 顧 問

谷 野 作太郎 氏



昔、インドは日本人の世界観の真ん中にありました。大仏開眼にインドのお坊さんを連れてきたり、三国一の花嫁というとき、日本、中国に次いでインドが入っている。明治時代、イギリス、アメリカに次ぐ貿易パートナーがインドでした。戦前は綿、戦後間もないころは鉄鉱石。戦後苦しいときに惜しみなく鉄鉱石を日本の復興のために分けてくれた。そのためもあったのでしょう、日本の経済協力円借款第1号はインドなんです。

ガンジー、ネルーが非同盟外交のヒーローであった頃のインドは国際社会でも非常に存在感がありましたが、戦後独立して社会主義的計画経済の道にはいってしまい、日本とは疎遠な時期が長く続きました。そして経済も先細りになった。湾岸戦争で中東へ出稼ぎに行っていたインド人の外貨も途絶えて大変な経済危機に直面したとき、経済の自由化を先頭に立ってやったのが今総理大臣をやっているマンモハン・シンです。

インドは最近いろんな意味で調子がいい。6～7%の経済成長を続けている。ゴールドマン・サックスのBRICS報告では2025年から30年、日本、中国、インドはGNPで大体横一線になるそうです。そういう目で見るとインドの強いところはなんといっても巨大なマーケット。2億人といわれる中間層の存在です。そして大変優秀なソフトの人材がいる。シリコンバレーを支えたのはインドの青年達でした。東芝も今年100人の若いエンジニアをインドにトレーニングに出します。アプリカルな、実証的なソフトをワッと作り上げる、本当に勉強になるといいます。それから司法制度が強い。ACTIVE JUDICIARYとは、政治も役所も機能していないとき、法律家が世直しの最前線に立つ。それを行っているのがインドなんです。

弱いところはインフラ。これは中国に完全に遅れをとってしまった。そのほか不透明な手続き、官僚主義。そういう中で私がインドで学んだのは彼らの楽観主義、積極的な明るさ。NO PROBLEM! PROBLEMがいっぱいあるくせに、NO PROBLEM! そういった彼らの限りない楽観主義を日本人は学ぶべきだと思います。

何が起こっても「あわてない、あきらめない、あせらない」の3つの「あ」に、私は彼らの日本に向ける「あたたかい心情」、限りない「あかるさ」の2つを加えてインドのお話をすることにしております。



ニコニコBOX 報告

浅田 豊久さん 梅雨晴れが続きます。

(拡大補佐)

水島 裕さん ロータリーの花、多くの方が評価
いただき、予想を越えて皆様に歌
っていただき感動しました。

山本 良樹さん 新しいマイクロフォンを使っ
ての卓話に期待しています。

小島 篤さん 米倉先生、ご来会ありがとうございます。
卓話楽しみにしております。

齋藤 明子さん 昨日は父の日、私の父の丁度3回
目の命日でした。

安間百合子さん 先週、徳川美術館で初音の蒔絵に
感動して帰ってまいりました。

松本 智さん 23日は娘の誕生日です。18才になり、
青年です。

岡田 達雄さん 先週、生き物文化誌学会の例会が
無事終了しました。

柏原 玲子さん 6月は結婚記念日です。

森 佳子さん 森タワー52階で新しい展覧会「フ
ィリップス・コレクション展」が
始まりました。名品揃いです。是非見
にいらして下さい。

篠塚 博さん 先週は欠席でした。

工藤 一枝さん いつもありがとうございます。

小西 恭子さん 三週間お休みして失礼致しました。

中川 勉さん 梅雨はどこに行ったんでしょう！

小笠 裕子さん 梅雨の晴れ間に。

竹内 和弘さん 兄の嫁の手術が成功しました。あ
りがとうございました。

安井 悦子さん 米倉様、卓話楽しみにしてござ
います。

平松 和也さん 公務に時間をとられて、出席の回
数を確保できないお詫びを込めて。

6月20日	合 計	76,000円
	累 計	1,883,000円

(お詫びとお知らせ) 週報(No.26)のイニシエーションスピーチ
山中祥弘さんのタイトルに誤りがありました。申し訳ありませんでした。

(誤) — 隅を照らす経営をめざして —

(正) — 一隅を照らす経営をめざして —

本日のプログラム

「最終夜間例会」

次回のプログラム

平成17年7月4日

「新年度に向けて」

会 長 小竹直隆

副会長 水島 裕

副会長 大橋 寛治

東京六本木ロータリークラブ

会 長 小竹直隆 幹 事 小島 篤

会報・広報
委 員 長 安井悦子

会報・広報
副委員長 渡辺美智子

〈事務局〉〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3 グランドハイアット東京内 TEL 4333-8773 FAX 4333-8774

〈例 会〉毎週月曜日 午後12:30~13:30

〈例会場〉グランドハイアット東京